

# 第4号

定価一年間300円  
組合員の購読料は  
組合費に含む



発行

## 檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1  
Tel 0139(52)0858 FAX(52)1490  
発行責任者 白山 尚  
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

道高教組と道教組が道教委に要請した事項は以下の通りです。

1. 感染者の若年化、感染力の強い変異株の流行を踏まえ、児童生徒、学校職員への定期的なPCR検査実施に向けての措置を講ずること
2. 「1人1台の端末」の利活用には、市町村・学校間の取り組み状況に違いがあるため、「ICTを活用した学びの保障」を一律に押し付けないこと。活用に踏み切る場合には、各家庭の通信環境により格差が生じないように、必要な措置を講ずること
3. 感染場面の低減を図る「1日の授業時間の削減」や学級閉鎖・休校の判断を学校現場が躊躇なく適切に行うために、時数回復については各学校の判断に基づき弾力的に扱えるようにすること
4. 中体連・高体連などの大会開催・延期・中止の判断は、感染状況・対応措置を踏まえて適切に判断するよう関係団体に要請すること。また、感染防止に必要な経費を補助すること
5. 修学旅行等の学校行事の変更については、各学校で慎重に判断するものとし、その中止・延期に伴う費用については保護者や教職員の負担とならないよう、必要な予算措置を講ずること
6. 感染拡大防止策の強化による教職員の負担増に対し、スクールサポートスタッフ等の増員を図るとともに、調査・報告などの業務を大幅に削減すること
7. 日々感染のリスクにさらされながら勤務する教職員とその家族の命と健康を守るために、弾力的な勤務対応が可能であることをあらためて周知徹底すること。また、校内で陽性者が発生した場合のPCR検査や疫学調査、保護者連絡等の対応を、教員特殊業務手当の非常災害時の緊急業務に位置付け、手当を支給すること
8. 教員採用候補者選考検査について、感染者や濃厚接触者、感染の疑いがある受検者が、受検を控えた場合、再選考検査の実施など救済措置を講ずること

### 感染対応で緊急要請

#### 道高教組・道教組



道教委が入る道庁別館

# 現場努力を励み、実効ある対応を

感染の急拡大を受け、緊急事態宣言が6月20日まで延長されました。学校では、この1年以上、様々な制限の中で、目の前の子どもたちの命と健康を守るため、感染防止に懸命な努力が払われてきました。

北海道高教組と道教組は5月14日、道教委に「新型コロナウイルス感染症の急拡大への対応に関する要請書」を提出、学校の努力を励まし、感染拡大防止の実効あるとくみ求めました。(別

感染対策の徹底、部活動指導体制の強化、ICT活用による学びの保障を掲げ、宿泊行事の見合わせや運動会などの中止・延期、中体連に限定した部活動とそれ以外の原則休止などを示します。

修学旅行がすでに予定されている学校では、見合わせた際に発生するキャンセル料をめぐって、取扱いに苦慮しているという声が聞かれます。要請では必要な予算措置を求めています。また、ICT活用をめぐり、現

掲要請事項参照  
道教委通知では、重点配慮として、感

場の状況に即し、一律な押し付けを行わないよう要求しています。変異株の急増とともに学校での感染をいっそう警戒しなければなりません。

脆弱な検査体制が感染予防の足かせとなつています。学校での定期検査は、子どもたちの安全を守るためにも緊急必須です。要請では第一に検査の充実を掲げます。

政府の対応のまずさが露呈し、しわ寄せが国民に降りかかっています。現場からしっかりと声を上げていくことが、日に日に大事になっていきます。要望などがありましたら、ぜひお寄せください。

## 特別支援学校の設置基準案公表

文科省

文科省は5月26日、特別支援学校設置基準案を公表しました。父母・教職員などによる長年の要請運動の成果ですが、問題をはらむ内容も含まれます。

いた障害種別の施設設備も盛り込まれませんでした。最大の問題は、設置基準が既存の学校には「当分の間」適用しないとして

いることです。基準案について26日まで意見公募が実施されます。意見反映を呼びかけます。(左記参照)

特別支援学校の在籍児童生徒数はこの20年間で1.6倍(9万4千4百人)に増える一方、設置基準がない中で、学校の肥大化・過密化がすすみました。1教室をカーテンで仕切って使用することが「当たり前」になり、「窓のない倉庫で勉強」といった実態も。人権侵害ともいえる深刻な事態が続いてきました。

案は、慢性的な教室不足が続く教育環境を改善する観点から設置基準を制定するとうたい、「自立活動室」などの設置を盛り込みますが、特別の事情があるときは教室との兼用を認めます。在籍児童生徒数や通学時間の上限規定もありません。保護者や現場教職員から強く要望されて

### 特別支援学校設置基準の制定について パブリック・コメント(意見公募手続き)要領

※文科省文書より

- 1 提出手段 郵送・FAX・電子メール
- 2 提出期限 令和3年6月26日 必着
- 3 宛先

住所: 〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 宛

FAX番号: 03-6734-3737

電子メールアドレス: tokubetu@mext.go.jp

・件名【特別支援学校設置基準への意見】明記

・添付ファイル不可、メール本文にて



### 授業づくりと子ども理解

6年生を初めて担任する先生へのアドバイスを中心に意見交換が展開。「最高学年だから」といった枠にとらわれず、子どもから出発する視点の大切さが話し合われました。低

#### 小学校分科会

学年との関わりを通じて自分の成長を確かめていくことも大事な指摘もありました。「小規模校から中学校に不安なく進学でき、仲間と一緒に楽しく学校に通えることを願いながら日々向き合っている」という発言がありました。意見交流で共通していたのは、目の前の

## 2021檜山教職員の集いZoom



開会冒頭、アイスブレイクタイム「後出しジャンケン負けるが勝ち合戦」でお互いの緊張をほぐしました。

5月16日開催の檜山教職員の集いには、今年度初めて檜山に來られた先生方を含め、18人が参加しました。「授業づくりと子ども理解(小・中)」「特別支援教育」「養護教諭」の分科会で、日頃の悩みや思いを交流、「狭い視点から抜け出せた。これからはいろいろなと教えてほしい」などの感想が語られました。分科会の概要を紹介します。

# 狭い視点から抜け出せた

## スッキリしゅくり 分科会交流

### 子どもたちと共に創る

子どもと共に生活と学びを創っていくこうとする思いでした。

#### 中学校分科会

「荒れる」学校勤務での苦悩から実践を紡ぎ出そうとした経験が語られ、教職員としての自身を支えるものは何かというテーマで議論が交わされました。教職を辞めたいと追いつめられてなお乗り切れたのは、子どもたちの存在だったという振り返りが重く響きました。

#### 特別支援教育

### 支援員との連携大事に

支援員をめぐる現状ととりくみが話題になりました。学校現場が初めての支援員が、子どもへの対応で困り感を訴える事例が各校から共通して出されました。また、支援員と担当教員との意思疎通が滞ったとき、子どもへの関わりに深い影響を及ぼす事例も報告されました。

コーディネーターを務める参加者から、定期的な支援員との交流実施、担任と支援員との交換記録ノートの有効活用などで、子どもへの働きかけを機能的に展開しているといった経験が紹介され、理解を分かち合いました。

#### 養護教諭

### 感染対応で経験を共有

初任の方々を含め6人が参加、感染症対策を中心に交流を深めました。感染防止対応でばらつきがあるときの工夫として、委員会活動の有効性などが指摘されました。健康観察では、スクリーンサポートスタッフとの協働による二重チェック、家庭とも連携した記録の保存などが紹介され、運動会でも、児童の椅子席活用、観覧の仕方などの工夫

「荒れる」子どもたちとの出会いを専門性を問はず契機として受け止め、実践の内実を創っていくかどうか、その後の教職生活に関わる大きな分かれ目になるのでは」といった感想が述べられました。

ややもすれば子どもや家庭を否定的に見てしまう傾向を戒め、分かり合える関係づくりこそ意を尽くすべきといった構えについて、確認し合う場となりました。

### 公立高校配置計画案

#### 江差高校 計画決定時に公表

学校名	令和3年度(2021年度)の状況 学科及び募集学級数		R3(2021)欠員	令和4年度(2022年度)
	普通	職業		
単 江 差	3	2	2	16

〔計画決定時に公表〕

配置計画案より抜粋



道教委は、22~24年度の公立高校配置計画案を6月1日に公表。24年度に釧路学区を中心新たに6校での学級減を提示しました。23年度分の7校函館市立1学級減が含まれると合わせ23校になります。また、23年度にはオホーツク中学区の留辺蘂高校を募集停止としました。

21年度募集後に学級減となった全道24校の取扱いについて「計画決定時に公表」とします。江差高校も今年度3学級から2学級になりましたが、来年度の扱いは9月の計画確定時に明らかにされることとなります。

「中卒者数の増減に適切に対応」計画案する立場からは、地域の子どもと学校を守ることはできません。数の論理を超えた仕組みづくりを求めていきます。



うれしいとき、かなしいときにあなたも応援します。

## 総合共済

月々  
600円

さらに退職時には  
掛金が全額戻ります!

- 結婚祝金に10,000円
- 出産祝金で5,000円
- 災害見舞金に10万円(全壊)など 他にもいろいろ